

令和 1 年度（2019 年度）

社会福祉法人恵正福祉会
とうかいどう保育園

事業報告

令和1年度総括

- ・ 保育サービスの質の向上を第一目標に掲げ、一番重要な「人材」の育成を計るため外部有識者による保育の実地指導と講習を計画しましたが、講師病気により実施することができませんでした。
- ・ キャリアアップ研修には積極的に参加し自己のレベルアップに努めました。
- ・ 保育士には外部研修も積極的に受講するよう保育園の情報網から入ってくる各種研修案内を掲示し、園長から受講の指示もしました。
- ・ 危機管理委員会には外部の専門講師を招き、安全管理に対する基本教育及び保育園で実際に発生した事例を元に予防、対策等を検討しました。
- ・ 園内で女性職員に対するセクハラ被害が発生し、法人本部で特別相談窓口を設置して調査をしました。被害実事が認められたので、対象の職員の処分を行いました。

大切にしたい価値観の実行

- ◇ 子どもたちの一日の様子は連絡帳、日誌、掲示板で公開しました。
- ◇ 利用者の皆様のご意見・ご要望は財産としてしっかり受け止めて対応しました。
- ◇ 専門指導員により体操、英語、リトミック、音楽リズム、茶道の指導をいただき、「リズム感、表現力、礼儀作法、身体の敏捷性、バランス感覚」を育成しました。
- ◇ 食育活動として、プランターで種から「野菜」を育て、また「さつま芋」を法人本部の畑で収穫し、クッキング保育で食し、食物への興味、関心を育て意欲的に食に興味をもたせるようにしました。
- ◇ 地域子育て支援（カンガルーひろば）では、給食体験、子育て相談を行い月曜日から金曜日まで保育園を開放し、子育て家庭を支援しました。
以上の行動を通して、地域住民、保護者との強い信頼関係を築き、利用しやすい保育園を目指しました。

年齢等に応じた保育内容及び保育計画、指導計画、年間行事

保育所保育指針、就学前教育カリキュラム活用ハンドブック等に基づいて、子どもが現在を最もよく生き望ましい未来を創り出す力、「生きる根っこ」の基礎を培うため、乳幼児期の発達の特徴を十分に踏まえて入園から卒園までの発達の見通しを持ちきめ細やかな対応が図れるようにすることが重要であると考えます。

そのために、保育理念、保育方針に基づいて、年齢別保育を基本に、異年齢交流

保育、世代間交流保育、障害児保育等を実施しました。

年齢等に応じた保育内容及び保育計画、指導計画作成に当たっては、実態に即した保育課程、年間・月間指導計画、週日案を作成し実施しました。

行事についての考え方

わたしたちには、過去の人が築き上げた文化があります。子どもたちが伝統行事や文化に触れることにより、生活体験の広がりや、様々な気付き、豊かな発想につながって豊かな感性が養われることを目的に、わたしたち保育者は様々な行事を引き継いでいきます。

こどもの日、七夕、夏祭り、お正月、節分の豆まき、ひな祭りなど各行事を体験しながら日本の伝統文化、行事に親しみ情操豊かな子どもの育成に役立て、子どもたちが楽しんで参加できる企画を立て実行しました。

年間行事

4月	入園式、保護者会
5月	こどもの日、全園児健康診断、全園児歯科健診
6月	眼科健診、おみこしかつぎ
7月・8月	七夕集会、夏祭り（バザー）、プール遊び
9月	運動会
10月	全園児健康診断、ハロウィン、芋ほり遠足、
11月	
12月	おたのしみ会、ウィンターパーティー
1月	正月遊び
2月	節分
3月	ひなまつり、就学祝い会、お別れ遠足、 保護者会…中止（コロナウイルス拡大防止のため）

- ◇ 毎月の誕生会を行い、誕生月の子どもを全クラスでお祝いしました。また子どもの生まれた日に栄養士さんがお祝いの旗と、別メニューの一品をプレゼントしました。
- ◇ 避難訓練は、火災、地震、消火、煙体験を実施し、指定避難先の小学校まで避難、起震車体験も実施しました。
- ◇ 身体測定は、春、秋の二回、頭囲、胸囲、身長、体重測定を実施。0歳児健診は

毎月囑託医により実施しました。

保護者との連携

- ◇ 子どもの体調を把握するため0,1歳児は体温を測り、トイレを済ませてから保育士に引き渡すようにしています。
- ◇ 職員間の日々の連絡事項は登園、降園時を利用して口頭で行い、事務連絡簿に記入し、各クラスに連絡報告することにより保護者に確実に情報を伝え保護者にご安心頂けるようにしています。
- ◇ 月の指導計画、週案、その日の活動をクラス掲示板でお知らせしています。
- ◇ 給食サンプルは、その日のメニューを展示しています。
- ◇ 園だよりは毎月1回発行し、保育園全体のことを伝えています。
- ◇ クラスだよりは、保育活動を伝えています。
- ◇ 保護者会は年2回開催し、各クラスの保育内容、子どもの姿等意見交流を図っております。

地域社会との交流

保育園の子どもの活力は地域にとって貴重な資源です。子どもの存在と子どものエネルギーを街づくりに活かせるよう積極的に地域に関わっていきました。

- ◇ 地域の子育て家庭の支援を行いました。
- ◇ 子育て相談を行いました。
- ◇ 地域の保育園と交流や、小・中学生、高校生の職場体験を受入れました。
- ◇ 保育体験ボランティアを受入れました。

特別保育事業の実施

産休明け保育、障がい児等保育、延長保育、保育士体験、給食体験、子ども赤十字活動参加、園の見学随時、けん玉教室を実施しました。

運営

職員構成（令和1年4月現在）

園長1名、副園長1名、主任1名、保育士(常勤)14名、保育士(非常勤)8名、
看護師1名、保育補助5名、事務員（常勤1名、非常勤1名）
給食関係は業務委託…栄養士1名、調理師1名、調理補助2名
嘱託医1名、歯科健診医1名、眼科健診医1名

クラス編成・職員配置（令和1年4月1日現在）（人）

クラス	園児数（定員）	基準配置
0歳 ひよこ組	12	保育士4
1歳 ペんぎん組	18	保育士4
2歳 あひる組	18	保育士3
3歳 うさぎ組	18	保育士2
4歳 こぐま組	18	保育士1
5歳 ぞう組	18	保育士1
地域子育て支援	保護者、児童数…不定	保育士1

月別児童在籍人数（令和1年）（人）

年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	12	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12
1	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
4	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17
5	18	18	18	18	18	18	12	18	18	18	18	18	18
計	102	100	101	101	102	102	102	102	102	102	101	101	101

地域子育て支援（かんがるーひろば）

とうかいどう保育園では地域の子育て家庭を応援します。このため地域の子育て家庭を対象に次の事業を行いました。

① かんがるーひろば

地域にお住いの親子が自由に利用できるフリースペースとして保育園の一部

を開放しました。利用は保育園開園日の月曜日～金曜日、10:00～15:00 としています。

かんがるーひろば月別の利用人数 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
親	130	106	148	224	111	134	127	123	128	107	142	—	1480
子	158	128	176	267	138	161	151	149	150	124	173	—	1775
総数	278	234	324	391	249	295	278	272	278	231	315	—	3255

※ 3月はコロナウイルス感染症拡大防止のため休館

② 給食体験

地域にお住いの親子が保育園の各クラスと一緒に昼食を食べることにより保育園での給食や食育などを体験できる取組をしました。

③ 各種教室

地域にお住いの親子を対象に各種教室を開催しました。

- ・音楽リズム教室・体操教室・リトミック教室・英語教室・親子遊び

④ 子育て相談

地域にお住いの子育て中の皆様の子育てに関する悩みや相談を受け付けました。

⑤ 行事の開催

ハロウィン、クリスマス会、運動会、プールなどの季節の行事を行いました。

職員会議等

令和1年度も会議等のあり方を見直しました。少しでも多くの時間を保育業務に費やすために、形骸化している打合せは廃止し必要最低限の開催としました。

- ・全体職員会議月1回実施
- ・カリキュラム会議月1回実施
- ・支部連絡会月1回実施
- ・乳児、幼児会議月1回実施

アレルギー面談

アレルギー園児面談を年2回実施しました。

職員研修

- ・新年度法人合同研修…入社式後に「社会人の一般常識」を研修を実施。
- ・危機管理、苦情解決委員会主催のテーマ別グループワークを実施。
- ・園内研修として、東日本大震災を体験した方の「震災時の避難方法、準備しておくべき用品」等の講話。

【職員外部研修】

- ・保育課職場企画研修「障がいをもつ子どもを保育園で受け入れるとは」
- ・キャリアパス対応生涯研修課程「初任者研修」
- ・東京都保育士等キャリアアップ補助金等の実績報告に係る説明会
- ・日本保育協会関東地区保育者・女性部合同研修会 東京大会
- ・保育士キャリアアップ研修「マネジメント分野」
- ・品川区保育施設指導検査講習会
- ・東京都保育研究大会
- ・東京都相談支援従事者 初任者研修
- ・乳児保育担当研修会
- ・スキルアップ研修
- ・公定価格の「基本分単価」と無償化に関する研修会
- ・保育士キャリアアップ研修 乳児保育分野
- ・区立東品川保育園見学・体験
- ・新しい指導計画の考え方 ワクワクする「子どもの姿ベース」の保育に向けて
- ・就学継続支援研修

委員会

給食委員会・保健衛生委員会・危機管理委員会・苦情解決委員会の4委員会をとうかいどう・とごしの杜の両園で設け、各園からメンバーを選出し運営を行うこととし。それぞれの活動内容は事業部会議・職員会議にて報告した。

・給食委員会

献立メニューの希望や、味付け等を保育現場と調理員と協議し、より良い給食を目指すようにした。

アレルギー食の誤提供に対し、原因究明し、再発防止策を出し合い検討した。

一年間をかけて、提供食材目安表や、離乳食の見直しを行い確認した。

- ・保健衛生委員会

2園の感染症発生状況を情報共有し、発生拡大させないための対応策などを検討した。

職員健康診断の内容再考を検討した。

現場から出てくる問題を検討し、情報共有した。

- ・危機管理委員会

台風15号接近時の対応を検証し、職員の連絡体制及び対応、防災救急セットを再確認。

プール管理マニュアル 溺水時の応急処置の検討。

震災研修を計画し、実施した。

不審者対応訓練を実施した。

- ・苦情解決委員会

苦情に対する職員の意識を高める。

職員の良いところ探しをした。

今後、危機管理委員会と苦情解決委員会で重なる議題も多いので、2委員会を一本化していく。

防災対策

◇ 火災、地震、水害、不審者その他災害から身体、生命を守ることにについて、警察署、消防署から指導員に来ていただき訓練を実施しました。

◇ 月1回の避難訓練、訓練用消火器で消火訓練を実施しました。

◇ 非常食、飲料水については昨年度事業所で入れ替えましたが、今年度も非常食を購入しました。

◇ ウェルキッズ活用による、携帯メール受信で保護者への一斉連絡を必要に応じて実施しました。

苦情解決

「安心と信頼」「笑顔とチームワーク」を理念に掲げている当法人は、利用者の立場に立ってご意見を伺う体制が構築されています。

保護者の皆様と保育園はコミュニケーションを活性化し、苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることで保育園の信頼を高めると共に、適正な運営の確保を図り、第三者委員の委嘱、苦情解決責任者を設置しています。

・本年度は保育士、看護師の保護者に対する「態度が悪い」と苦情が2件ありました。

1 件目

本年5月に2歳児の保護者より、「子どもの目の下の怪我」に対する看護師の状況説明が不適切であると苦情がありました。保護者と本部役員、事業部役員、第三者委員、園長とを交えて数回説明の場を設け、その後は2歳児に専任の保育補助者をつけることと、怪我などが起きた時の対応方法の見直しを行いました。しかし、看護師は同年7月に自主退職をし、当該児童は令和2年4月に転園することとなりました。

2 件目

法人本部に匿名（「保護者」との記載）での苦情の手紙が届きました。内容は、「保育士の言動や態度が悪い」との内容であり、改善が見られないとの内容でした。名前を指摘された職員と管理者が面談をして、事実確認を行い該当する事実に対しては嚴重に注意としました。

園舎・設備の維持管理

◇ 年間管理計画に基づき、園舎、設備の定期点検保守を実施し、設備の保全、安全管理に努めました。

【実施した定期点検保守事項】

- ・電気設備保安点検・エレベータ点検・消防設備点検・建築設備定期検査
- ・特定建築物定期検査・水質検査・貯水槽清掃、給水ポンプ点検・害虫駆除
- ・排水管高圧洗浄・定期ガラス清掃・エアコン、天井扇清掃・学校110番点検
- ・自動ドア点検・厨房設備点検・手洗消毒液補充・空気清浄器清掃

職員福利厚生

- ◇ 年1回定期健康診断
- ◇ 毎月1回細菌検査（赤痢菌、サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフス菌、病原性大腸菌（O-157）
- ◇ インフルエンザ予防接種